北上川下流

米谷出張所だより

第121号

〈令和８年10月16日〉

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。

水門等水位観測員を表彰

北上川の出水に備え、日頃から地元の方に水門等水位観測員として水門や排水樋管の操作にご協力いただいております。（米谷出張所では、21施設41名の水門等水位観測員に委嘱しています。）

9月4日（金）、10月7日（水）に国土交通行政関係功労者への表彰式が行われ、水門等水位観測員として長く排水樋管操作業務に従事して頂いた方に北上川下流河川事務所長から表彰状が贈られました。





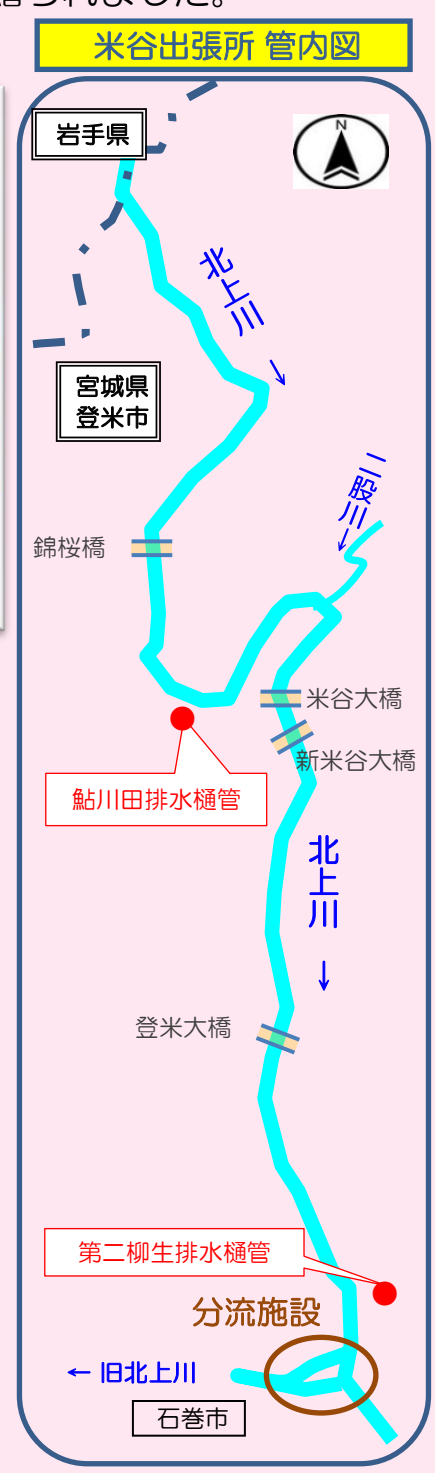
鮎川田排水樋管
渡邊　孝吾さん



第二柳生排水樋管
千葉　勲さん



水門等水位観測員とは、排水樋管ゲートの操作や水位の観測などをする仕事です。出水時には昼夜を問わず、長時間にわたる大変な作業です。地域の方々の安全な暮らしは、水門等水位観測員によって守られています。



これまでの功績に感謝するとともに、引き続き地域のためにご協力をお願いいたします。

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所　米谷出張所
〒987-0902　宮城県登米市東和町米谷字古舘5-4　　ＴＥＬ 0220(42)2211　　ＦＡＸ 0220(42)2249
北上川下流河川事務所ホームページ ＵＲＬ：　http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html

河川構造物カード配布中！

米谷出張所では、２種類（【曲袋・相模土手】・【大泉堤防】）のカードを配布中です。
カードの配布は、平日８時３０分から１７時１５分で、米谷出張所の玄関に設置しております。来訪者受付表に日付・お住まいの都道府県名・人数をご記入の上、お一人様1枚ずつお持ち帰りください。
なお、郵送によるカードの発送は対応いたしかねますので、ご了承ください。

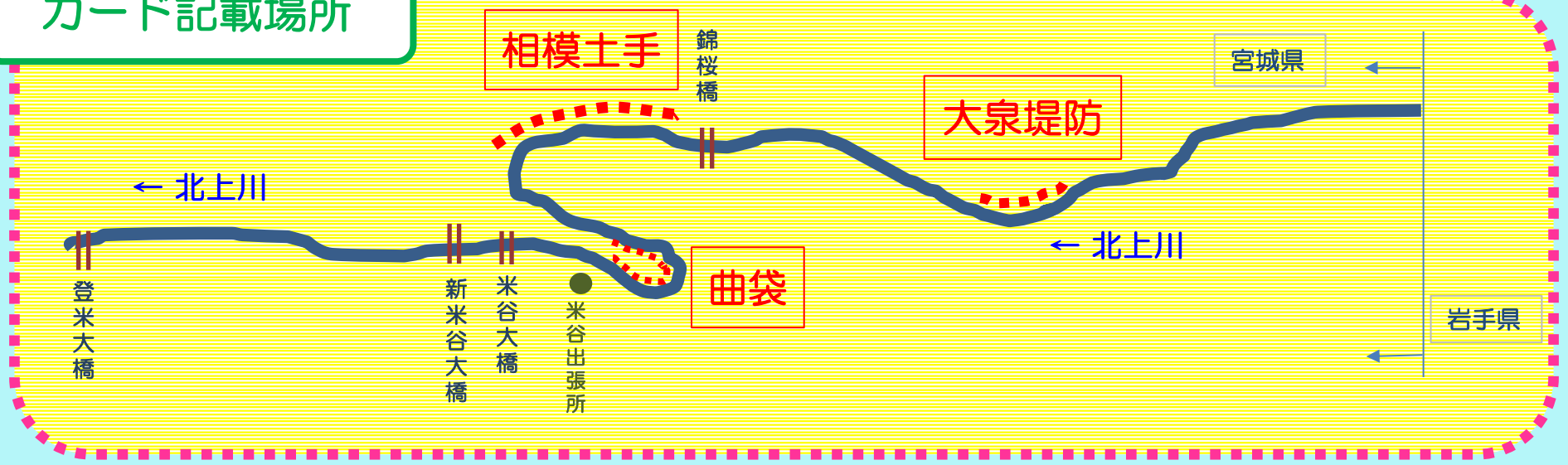


【相模土手とは】
登米寺池領主白石宗直（登米伊達氏）は、当時の北上川が急流で物資輸送の船も通じがたいのを憂い、１６０５（慶長１０）年から登米郡を中心に北上川の流路を変更するため、５年を費やして改修工事を行ないました。これは、中田町川面に堤防を築いて北上川の流路を変更し、東和町米谷へ湾曲させて二股川と合流させたもので、この川面付近に築いた堤防を「相模土手」といいました。
相模土手は、登米伊達2代若狭宗貞が慶安年間（１６４８～５１）に堤防を強化し、これを「若狭土手」といいます。



【破堤被害（大泉堤防）】
昭和２２年９月６日頃から温暖前線の影響を受け、北上川流域に断続的に降り始めた雨はカスリン台風に巻き込まれ１１日～１５日の５日間にわたり降り続け、一関市狐禅寺上流の流域平均雨量は観測史上最大の１８７ミリメートルにも達しました。１６日午後９時１５分、大泉堤防1,370mのうち、約２５０mが破堤。北上川の水は一気に中田町内を駆け抜け、遠く登米町、迫町、米山町まで広がりました。

カード記載場所



公式ホームページ等の紹介！

川に関する情報や緊急防災情報などをいち早く知ることができますので、この機会にぜひご覧ください。

川や堤防の異常・変状などが発見されましたら、お手数ですがご連絡ください。



北上川下流河川事務所

facebook

YouTube

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 米谷出張所
〒987-0902 宮城県登米市東和町米谷字古舘5-4 ＴＥＬ 0220(42)2211 ＦＡＸ 0220(42)2249
北上川下流河川事務所ホームページ ＵＲＬ： http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html